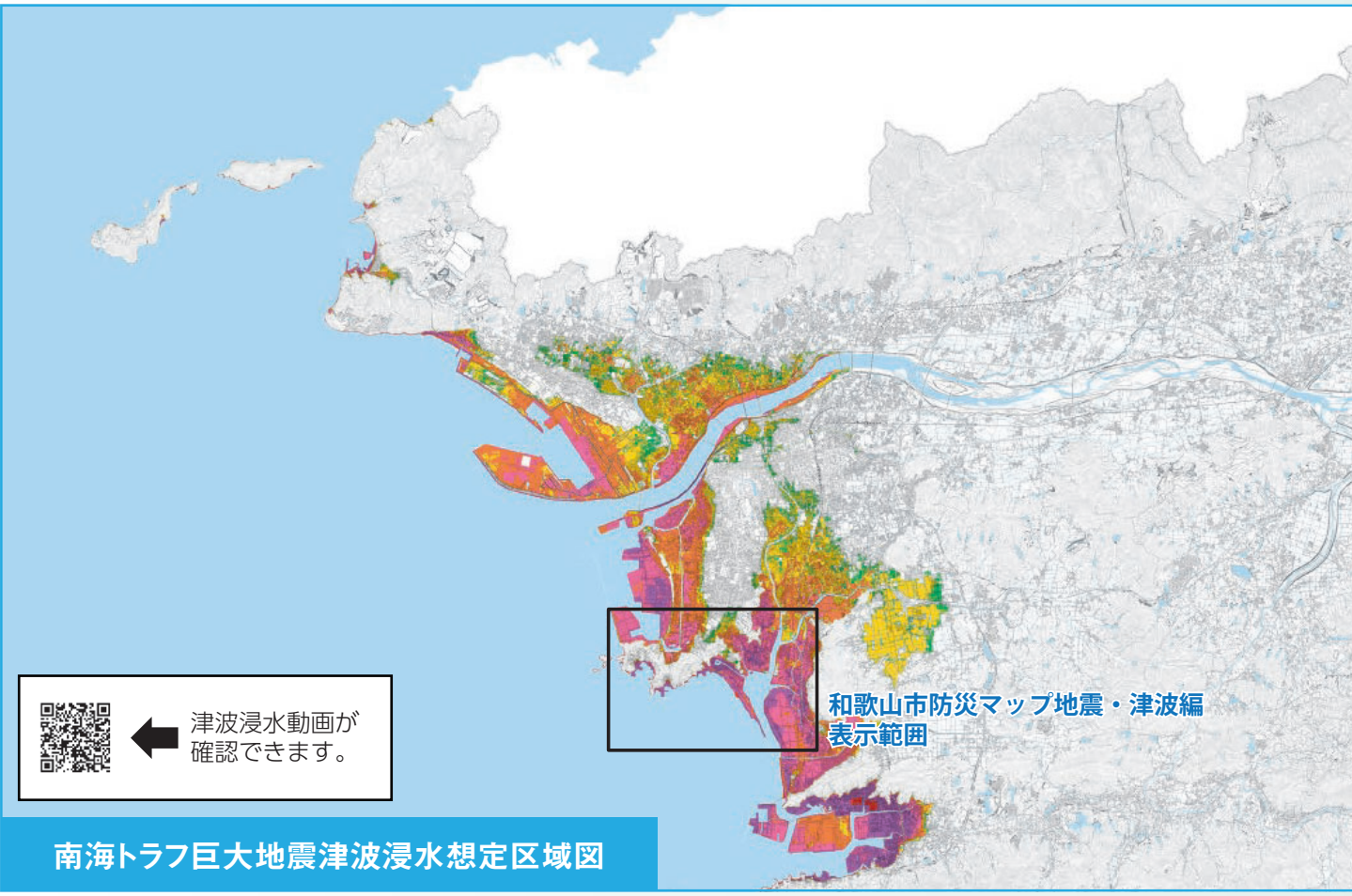


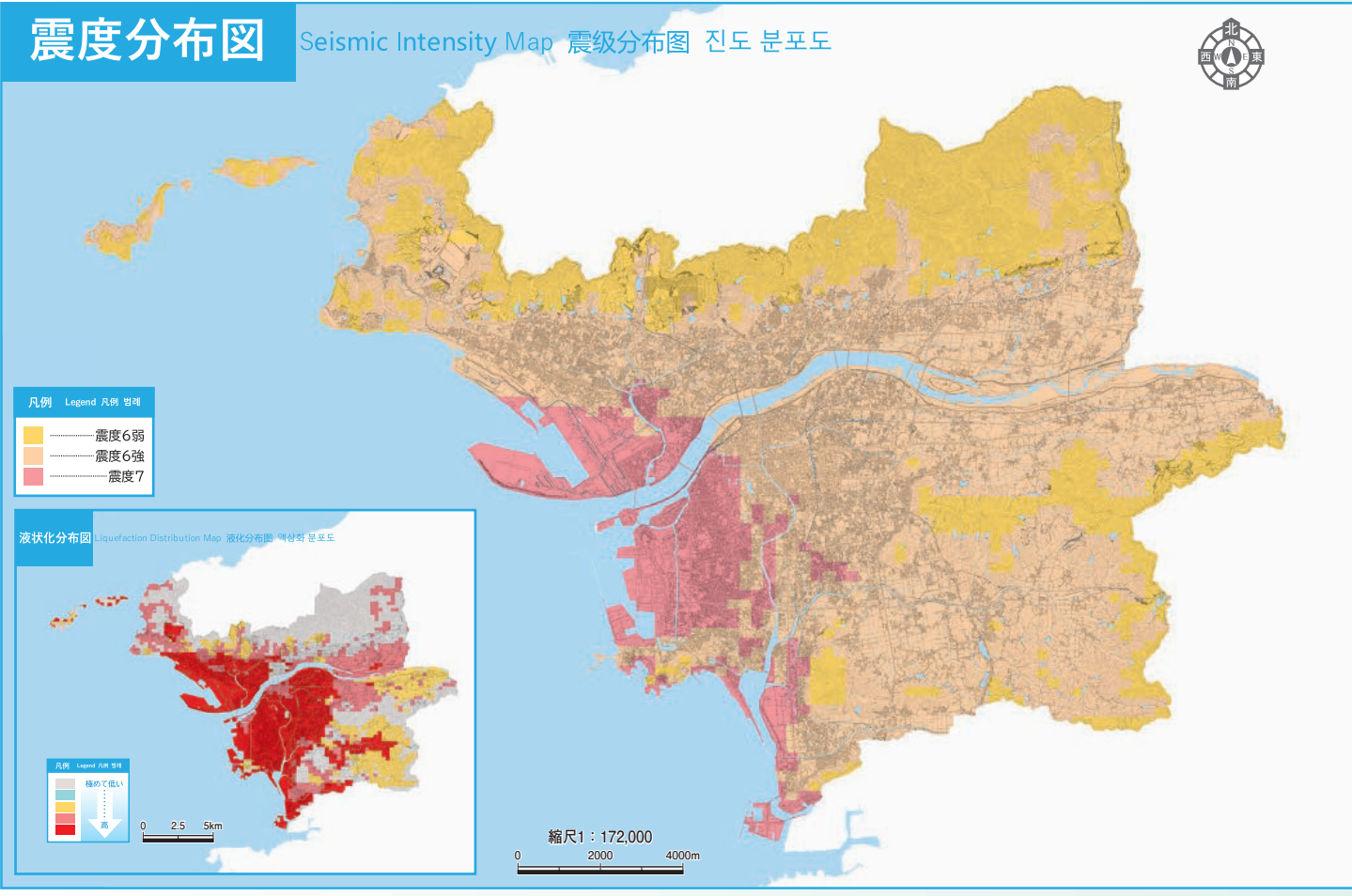
和歌山市防災マップ

地震・津波編 Earthquakes and Tsunamis 地震・海嘯篇 지진·쓰나미 편



南海トラフの巨大地震(海溝型地震)

Massive Nankai Trough Earthquake (Subduction-Zone Earthquake) 南海海槽大地震 (海沟型地震) 난카이 트로프 거대지진(해구형 지진)



自宅の安全性を高める

Improving home safety 提高自己的家的安全性 자택의 안전성을 높인다

■住まいの耐震化

一あなたの住まいは本当に大丈夫ですかー

もし、大地震が起きても家族の命や財産を守れるよう、そして、地震発生後もわが家での暮らしを維持できるよう、あらかじめ耐震診断により建物の安全性を確認するとともに、必要に応じた耐震改修を行っておくことは、地震による被害を減らすための、有効かつ効果的な取組です。

■置き方に工夫を

- 家具の下部の前方に転倒を防止するための板などを入れ、壁にもたれ気味にします。
- 出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。
- 就寝場所に家具が倒れてこないように、配置の工夫を。

地震のときに家具などが就寝部分に倒れたり、避難経路をふさぐ位置に配置されていませんか？

■耐震金具を利用しましょう

- ◎**転倒防止金具**
壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、天井などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。
- ◎**重ね留め用金具**
重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎます。

災害はいつ発生するかわかりません！
You never know when a disaster will occur!
灾难何时发生,是无法预计的! 재해는 언제 발생할지 모릅니다!



情報の入手先

Information Resources 信息来源 정보 입수처

防災行政無線で迅速かつ効率的に情報を伝達します。

電話でも確認できる!

防災情報電話案内サービス
和歌山市の防災行政無線の放送内容や防災情報を電話で聞くことができます。
☎0120-077-199(通話料無料)

メールでも確認できる!

和歌山市防災情報メール
和歌山市の防災行政無線の放送内容や防災情報をメールで確認できます。
登録方法 下記アドレスに空メールを送信してください。
✉ touroku@bosai-mail.city.wakayama.wakayama.jp

テレビ

テレビ(データ放送) NHKテレビ(1ch)、テレビ和歌山(5ch)
チャンネルを合わせて④ボタンを押すと、データ放送で災害情報を確認できます。

ラジオ

NHK▶AM(666kHz/828kHz)、FM(84.7MHz)
和歌山放送▶AM(1431kHz)、ワイドFM(94.2MHz)
エフエム和歌山▶FM(87.7MHz)

専用端末

防災情報サービス専用端末(J:COM)
防災行政無線の音声が自動で専用端末から放送されます。(有料)

インターネット(HP)

和歌山市ホームページ
http://www.city.wakayama.wakayama.jp/
和歌山地方気象台
https://www.jma-net.go.jp/wakayama/
関西停電情報アプリ
和歌山市ライン公式アカウント
和歌山市公式フェイスブック
和歌山市公式ツイッターアカウント
和歌山市災害警戒・対策本部ツイッター

感染症予防対策

Infectious disease prevention measures 伝染病予防対策 감염증 예방 대책

災害発生時には多くの住民が避難する避難所が「3密」状態となり、新型コロナウイルス感染症等が拡大する恐れがあることから、避難所における感染症予防対策が重要です。阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震等においてはインフルエンザやノロウイルスの感染が散見されています。

- 手洗い、手指の消毒をしましょう。
- 避難所の備品には限りがあるため、マスクや体温計など感染予防に必要なものは極力持参するようにしてください。



災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

市が指定した避難所への立退き避難

マスク・アルコール消毒液等 自ら携帯するようにしましょう。

安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。
※防災マップで安全かどうかを確認しましょう。

安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。
※防災マップで安全かどうかを確認しましょう。

屋内安全確保

①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない。
②浸水深より居室は高い。
③水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分
上記3つの条件を確認し、自宅にいても大丈夫かを
確認することが必要です。
※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。

地震・津波の場合、屋内施設への避難だけでなく、空地や高台などの安全が確保できる場所も避難先の一つとして避難しましょう。

非常持ち出し品・非常備蓄品チェック表

Check Sheet for Evacuation Items and Emergency Supplies 应急携带品・应急储备的检查表 비상 반출품 비상 비축품 체크표

避難するときに最初に持ち出すのが「非常持ち出し品」。
災害直後から混乱が収まるまでの数日間、自給自足するための物資が「非常備蓄品」です。
以下は一例です。特に非常持ち出し品は、持って逃げられる量にしましょう。(男性15kg 女性10kgが目安)

非常持ち出し品

●とっさの場合に持ち出せるようにリュックサックにつめておきましょう。

貴重品	情報収集用品	非常飲食品
☐ 現金 ※公衆電話用に硬貨も ☐ 印鑑 ☐ 家や車の予備鍵 ☐ 証書類のコピー (健康保険証、免許証、通帳、保険証書、権利書など)	☐ 携帯ラジオ ※予備電池も ☐ 携帯電話(スマートフォン)の充電器 ☐ 筆記用具	☐ 非常食 ☐ 飲料水 ※1人1日1ℓ
衛生用品	日用品	
☐ 救急セット ※常備薬も ☐ タオル ☐ トイレットペーパー ☐ ビニール袋 ☐ 下着類 ☐ トイレ凝固剤	☐ 懐中電灯 ※予備電池も ☐ ヘルメット・防災ずきん ☐ 軍手 ☐ スリッパ ☐ 笛やブザー ※居場所を知らせるもの	☐ マッチ・ライター ☐ 万能ナイフ ☐ 毛布・保温シート ☐ 使い捨てカイロ

非常備蓄品

●少なくとも3日(できれば1週間)は自力で生活できるように準備しておきましょう。

☐ 非常食
☐ 飲料水 ※1人1日3ℓ

☐ 毛布
☐ 簡易トイレ
☐ カセットコンロ・ガスボンベ

上記リストを参考に、特に乳幼児用品、高齢者用品等、災害時に配慮すべき方の用品も、家族構成に合わせて追加しましょう。

地震・津波に関する啓発記事 風水害に関する啓発記事